

特定既存単独処理浄化槽判断調査票(案)

資料2

調査 No.	調査年月日	調査者
--------	-------	-----

(1)基本情報

浄化槽管理者名	浄化槽管理者住所	
連絡先電話番号	設置場所	
設置場所施設名	浄化槽台帳 No.	メーカー名
処理方式	人槽	放流先

(2)事前調査

①周辺住民からの苦情等

受付日	通報者等
苦情等の内容	

②11条検査

検査実施日	判定結果	適正・おおむね適正・不適正
水質検査結果	BOD (mg/l)、透視度 (度)、残留塩素 (検出・未検出)	
指摘内容		

③浄化槽維持管理状況

保守点検業者名	点検回数・指摘内容
清掃業者名	清掃日・指摘内容

④特定既存単独処理浄化槽判断

特定既存単独処理浄化槽判断	該当・該当しない
備考	

(3)立入検査(別紙のチェックシートに記入)

(4)総合判定

除却・除却検討・修理又は改善・経過観察
(特記事項)

※総合判定表による。

立入検査チェックシート(案)

①浄化槽の現状(下記の各項目に該当する場合は「○」を記入すること。)

No.	チェック項目	検査項目	該当状況	切迫性	補修可否
01	浄化槽本体	浄化槽本体に大きな破損箇所が認められるかどうか、また隔壁等の内部設備に明らかに影響を及ぼす程度の変形が生じているか確認する。	有・無	有・無	可・否
02	水平の狂い	本体の水平に傾きが認められるかどうか確認する。その場合、不均等な攪拌や短絡水流の形成、腐敗槽や沈殿分離室、沈殿室の汚泥の堆積が極度に偏っているかどうか併せて確認する。	有・無	有・無	可・否
03	隔壁、仕切板	各室の隔壁や仕切板が大きく破損や変形、脱落が認められるかどうか確認する。特に沈殿室のスカムパツフルが該当した場合にはスカムが容易に流出しやすいために注意が必要である。	有・無	有・無	可・否
04	接触材・ろ材	接触ばつ気室の接触材、予備濾過装置や散水ろ床のろ材について、充填されていない、又は浮上・脱落が認められるかどうか確認する。また、機種や構造によっては再固定が困難な場合があるため注意が必要である。	有・無	有・無	可・否
05	散気管、送気配管	浄化槽内の散気管が破損・欠落しているかどうか、送風機から浄化槽までの送気配管が破損しているかどうか確認する。また、破損箇所や状況から補修が可能かどうか併せて確認する。	有・無	有・無	可・否
06	ばつ気攪拌、回転盤	ばつ気室および接触曝気室において攪拌装置が正規位置に固定され、かつ適正な攪拌流が確保されているかどうか確認する。回転盤は装置の大きな破損、シャフトが適正に固定されかつ正常な回転が可能かどうか確認する。	有・無	有・無	可・否
07	消毒設備	消毒室の脱落や破損、消毒筒が適正に固定されているか確認する。また、一部で旧構造基準の必要容量が不足している場合があるため、残留塩素が検出されるかどうか併せて確認が必要である。	有・無	有・無	可・否
08	平面酸化床、散水ろ床	平面酸化床、散水樋の破損や短絡、傾きの他、適正な水流が確保できない状況が発生しているかどうか確認する。特に剥離生物膜が特定の箇所に堆積しやすく嫌気化によって悪臭が発生するかどうか併せて確認する。	有・無	有・無	可・否
09	逆洗装置	接触ばつ気室における逆洗管の破損、装置の欠落、取り付け位置不良、切り替えバルブの作動不良等、適正な逆洗が稼働できるかどうか確認する。また、生物膜が肥厚状況も併せて確認する。	有・無	有・無	可・否
10	その他の内部設備	平面酸化床・散水ろ床、回転盤接触において灌注水設備や通気設備について、設備の欠落や破損等がないかどうか確認する。	有・無	有・無	可・否
11	流入管渠、放流管渠	定常時に勾配不良や閉塞等による滞留および逆流が認められるかどうか確認する。流入枳では逆流や溢流の有無、放流では逆流の他、浄化槽内の放流口の水位が極度に高かつ越流堰が水没していないかを確認する。	有・無	有・無	可・否
12	浄化槽上部	浄化槽上部に建屋等の構造物があり維持管理作業に支障をきたすかどうか、上部に荷重がかかった場合に本体天井部が破損および崩落する危険性があるかどうか確認する。	有・無	有・無	可・否
13	嵩上げ	嵩上げが30cm超であることを確認し、該当する場合は消毒剤の補給やバルブの操作、簡易な補修作業が可能かどうか確認する。	有・無	有・無	可・否
14	増改築等の状況	届出時の建築用途、延べ床面積等が確認時と同じかどうか、異なる場合には、人員算定基準に従って再算定した場合に、現在の人槽で充足するかどうか確認する。	有・無	有・無	可・否

②生活環境への影響(下記の各項目に該当する場合は「○」を記入すること。)

No.	チェック項目	調査項目	該当状況	切迫性	補修可否
15	漏水	槽内の水位が所定位置より低下している、加えて水張り実施中または実施後に水位の低下が認められるかどうか確認する。	有・無	/	/
16	汚泥の流出状況	放流管渠内から汚泥が流出しているかどうか、消毒室からの汚泥由来であるかどうかを確認する。	有・無	/	/
17	放流水のBOD	放流水のBODが160mg/L以上	有・無	/	/
18	残留塩素の検出	残留塩素が検出されない。	有・無	/	/
19	悪臭の発生状況	浄化槽設置場所周辺において臭気の発生状況を確認し、風向きや季節等の環境条件を踏まえて発生源が浄化槽であるかどうかを確認する。	有・無	/	/

③その他特記すべき事項